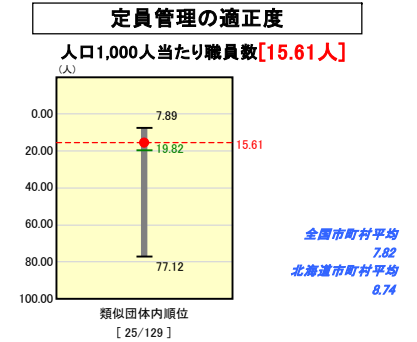
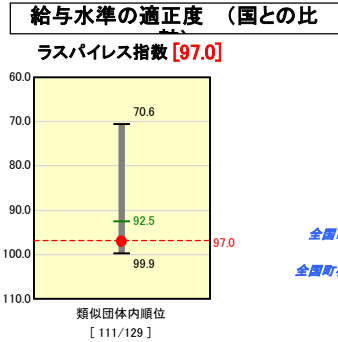
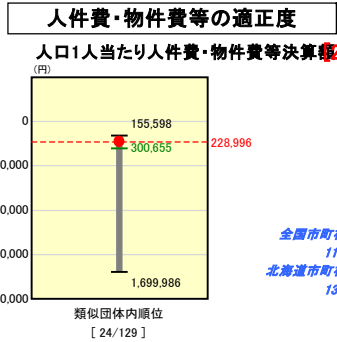
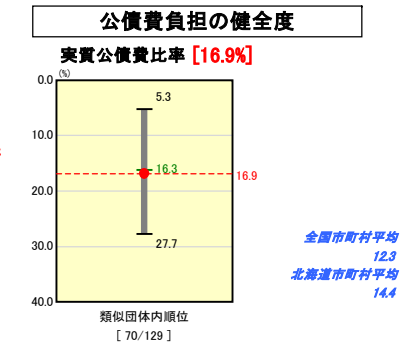
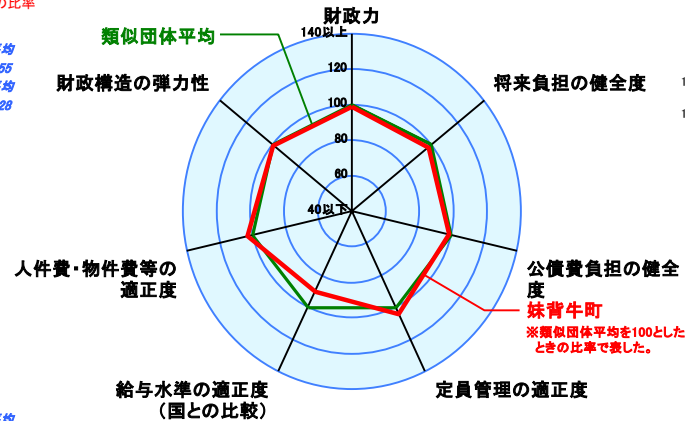
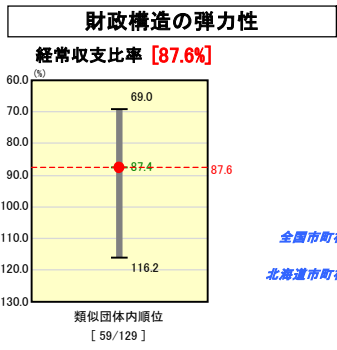
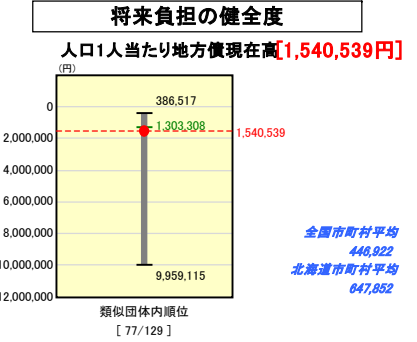
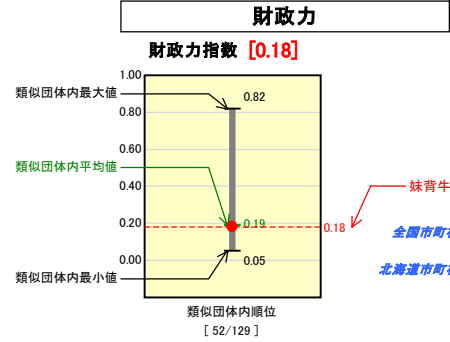


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 妹背牛町

人口	3,843	人(H20.3.31現在)
面積	48.55	km ²
歳入総額	2,925,594	千円
歳出総額	2,888,726	千円
	36.868	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析概

財政力指数： 長引く景気の低迷による個人・法人関係の減収などから類似団体平均値を若干下回っているため、退職者不補充等による職員数の削減、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施する。

経常収支比率： 人件費の削減、事務事業の見直しの結果、昨年度と比べ類似団体内順位も上昇したが、今後公債費の増加が見込まれるため、さらに経常経費の削減に努め現在の水準以下を維持するよう努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額： 職員数の削減や、事務事業の見直し等に係る需用費の削減効果により、類似団体平均より低くなっている。引き続きこれら経費の抑制を継続する。

人口1人当たり地方債現在高： 昨年度より若干の減額となったものの、類似団体平均値を上回っている。要因として、平成14年度より実施した大型事業(米穀乾燥調製貯蔵施設建設事業、カーリングホール建設事業)等であるが、今後国営土地改良事業に係る起債も見込まれるため、引き続き削減に努める。

実質公債費比率： 妹背牛町公債費負担適正化計画に基づき起債依存型事業見直し等の結果、年々改善され前年度数値も下回ったが、本比率が3ヶ年平均値のため依然類似団体平均値を上回っており、起債に大きく頼ることのない財政運営に今後努める必要がある。

人口1,000人当たり職員数： 過去からの退職者不補充、新規採用者抑制の実施により類似団体平均値を下回っている。今後もITの活用等により、行政サービスを維持しつつ今後更なる職員の削減を実施していく。

ラスパイレス指数： 平成17年度より職員の給与カット等実施しているが、職員平均年齢が高いことから類似団体平均値を上回っている。今後も給与の適正化に努めていく。